

防災豆知識 vol. 1



令和6年6月18日
梅丘まちづくりセンター

今月から町会長会議にて、毎回、防災をテーマにした豆知識をご案内してまいります。
ご存じの内容もあるかと思いますが、再確認の意味を込めまして実施してまいります。

テーマ「避難所」

その1 避難所の開設の判断

今回から数回に分けて避難所をテーマにご案内してまいります。

初回は「避難所の開設の判断」について、確認いたします。

避難所の運営が大きな問題になったのは、平成7年1月17日の阪神・淡路大震災でした。当時は、避難所の運営についてのルールが不十分で、避難してきた方が勝手に施設に入り込み、混乱した避難所がありました。神戸市の区役所のロビーにまで入り込んで、寝起きする人がいました。

それを教訓に各地の自治体で、避難所の運営についてマニュアルの整備、運営組織の結成を行ってまいりました。

以下、地震発生から避難所開設までの流れです。

□ 震度5弱以上の地震発生

□ラジオ・インターネットなどで震度等、地震について情報収集

＜震度5弱以上の地震発生＞

- ・区では区内で震度5弱以上の地震が発生した場合、非常配備態勢に移行し、各部及び地域本部拠点隊（まちづくりセンター）などに職員が参集します。

□ 家族や自宅の安全確保

- 自身に怪我はないか
- 家族に怪我はないか
- 自宅は安全か

揺れが収まったら、まずはご自身、家族、自宅の安全を確認してください。

＜安全確保＞

- ・地震はいつ、どこで起きるかわかりません。
平常時に具体的にイメージしておくことが大変重要です。

□ 近隣住民の安全確保（緊急性を要する場合）

□近隣に、助けを必要としている人がいないか

＜救出・救護活動＞

- ・建物の倒壊などにより、瓦礫の下敷きになっている人がいるなど緊急時には、救出活動を優先してください。

＜近隣の高齢者等の安否確認＞

- ・自身や家族の安全を最優先としたうえで、近隣の高齢者等で避難に不安がある方などがある場合、適宜声掛けを行います（無事の確認、火の始末の呼びかけなど）

□ 避難所への参集

- 避難所の運営や避難所生活に必要な物品を携帯しているか
- 近隣の被害状況（火災や建物の倒壊、道路状況等）を確認しながら参集

<避難所への参集>

- ・家族や自宅の安全確保、近隣住民の安全確保などのあと、避難所に参集してください。
- ・参集にあたっては倒壊した家屋やがけ崩れなどに注意をしてください。
- ・避難所運営に必要な物品（町会ジャンパーなど）を持参してください。
- ・夜間などの参集に備えて、懐中電灯などをご用意ください。
- ・参集は、徒歩で行ってください。

避難所運営委員会の本部員の方は、避難所に集合し避難所開設の協議・判断を行います。

□開設の協議・判断

- 区および学校と協議できる場合（平日昼間を想定）
 - * 地域本部拠点隊（まちづくりセンター）、学校災害対策本部（施設）と協議し、開設準備の判断をする
 - * 地域本部拠点隊（まちづくりセンター）と協議できない場合は、地域本部（総合支所）と協議を行う
- 通信環境等の影響等により区と協議できないとき（平日昼間を想定）
 - * 学校災害対策本部（施設）と協議し、開設準備の判断をする
- 区や学校と協議できないとき（休日・夜間を想定）
 - * 避難所運営本部で協議し、開設準備の判断をする*

※区や学校と協議できず、避難所運営本部で協議し、開設準備の判断をする場合の判断の目安（被害の程度は「気象庁震度階級関連解説表」より）

震度階級	想定される被害（木造建築（住宅））		開設の必要性
	耐震性が高い （概ね1982年以降）	耐震性が低い （概ね1981年以前）	
5弱	—	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	非常に低い
5強	—	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	低い
6弱	壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。 瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。 倒れるものもある。	高い
6強	壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。	壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。 傾くものや、倒れるものが多くなる。	非常に高い
7	壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。 まれに傾くことがある。	傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。	非常に高い

避難所を開設するとなったら、開設準備を進めます。

避難所開設不要と判断した場合は、校門に避難所は開設しない旨の掲示を行います。

次回、開設の判断以降について確認してまいります。